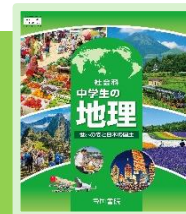


帝国書院『社会科 中学生の地理』 特色一覧

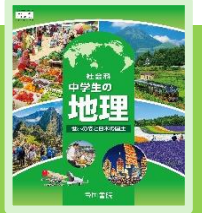
② 検討の観点から見た内容の特色



観点	観点の内容	『社会科 中学生の地理』の特色 ※(青字)は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
教育基本法との対応	教育基本法との対応が十分にはかかれているか。	●教育基本法第一条の目標および教育基本法第二条第一～五号に示された内容について、社会科の目標や学習内容に沿った指導を効果的に行うことができるように構成されている。	おもに p.63-64
学習指導要領との対応	学習指導要領の目標・内容の趣旨に沿ったものであるか。	<ul style="list-style-type: none"> ●単元構成は、学習指導要領の目標・内容に沿って構成されている。「もくじ」および「教科書を活用した学び方」では、単元構成と学習内容、各種コーナーの意図や役割が一望でき、学習の位置づけや見通しがつきやすいように工夫されている。また、「地理的分野の学習の全体像」では、小学校や他分野との関連を含めて、学習全体が見わたせるようになっている。(巻頭3-7) ●地域の特色が概観できるイラスト地図や写真資料、章・節ごとの単元を貫く問い、具体的な事例をもとに因果関係がわかる本文、単元の最後の「学習を振り返ろう」のように、単元が構造化され、見直し・振り返りに基づいた単元学習が確実に実践できるように工夫されている。 ●臨場感あふれる写真を通して日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、主体的に各地の地域的特色を捉えられる本文やコラムがバランスよく盛り込まれている。 ●「地理的な見方・考え方」を働かせながら、日本の国土や世界の諸地域に関する地理的特色が捉えられるよう構成されている。また地理的分野の全体を通して鍛えていく「地理的な見方・考え方」を整理したページが設けられ、わかりやすく説明されている。(巻頭8) ●知識が確実に習得できるよう丁寧な本文とし、本文の理解を促す資料を適宜配置している。知識・技能の形成を促すコラムや思考力・判断力・表現力を育む作業が随所に盛り込まれ、公民としての資質・能力の基礎を育成できるように配慮されている。 	おもに 特色1 p.5-12 特色2 p.13-28 特色3 p.29-40 および p.49-52
内容の配列・分量・程度	全体の分量は、年間標準時数から見て適切か。各単元の配当時は適切か、系統性が考慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●1見開き1単位時間(以下、時間)の授業が想定され、学習課題が明確に設定されている。 ●授業数は、第1部に8時間(第1章4時間、第2章4時間)、第2部に41時間(第1章7時間、第2章34時間)、第3部に56時間(第1章4時間、第2章10時間、第3章42時間)、第4部に5時間(第1章5時間)が配当され、標準授業時間数115時間のうち110時間を活用する配当に収めている。予備時間は5時間設けられている。 	おもに 特色3 p.29-40
	内容の程度・範囲および文章は、生徒の発達段階から見て適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ●本文は、具体的に例示したり、地理的事象の背景や因果関係までわかるようにしたりするなど、丁寧にわかりやすくなっている。また、平易な表現にするなど、中学生の発達段階が考慮されている。 ●本文、図版タイトル、キャプションの難しい漢字にはふりがなが付されている。また、固有名詞や地理用語には適宜ふりがなが付されており、地名や用語、熟語が正しく読めるように配慮されている。 ●文体は「です、ます」調の語り口で、生徒に親しみやすいよう配慮されている。 ●中学校学習指導要領の学習範囲を逸脱せず、基本的な用語や概念の理解を優先的に学べるようになっている。 	おもに 特色2 p.13-28
	学習を効果的かつ効率的に進めるための工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各見開きは、本文、資料、側注などが統一されたレイアウトで配置され、紙面の使い方が整理されている。学習内容が定着するよう、「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一し、構造化されている。 ●本文と資料の関連する箇所には、図・写真や他ページへの適切な参照指示が記載され、学習効果を高めるとともに、効率よく資料の活用ができるように工夫されている。 ●各見開きでは、学習している単元がわかるように、章ごとに色が統一されている。さらに、紙面右端にインデックスが設けられ、全体における位置づけを確認しながら学習できるように工夫されている。 ●用語解説や関連資料が本文のページの側注欄に掲載されており、ページ間を移動する手間が省け、生徒が集中力を切らさないで授業を進められるように工夫されている。 	おもに 特色3 p.29-40
内容の扱い／学習活動	課題解決的な学習を行うための構成・工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●単元を貫く「章・節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、単元の最後の「学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、課題解決的な学習ができる構成になっている。 ●第2部第2章「世界の諸地域」および第3部第3章「日本の諸地域」の導入「写真で眺める」では、「節の問い」や学習内容に関連した写真や地図の読み取りを通して、学習の見通しが立てられるように工夫されている。(p.46-47、64-65、80-81、92-93、106-107、118-119、168-169、184-185、200-201、218-219、234-235、250-251、266-267) ●「学習を振り返ろう」では、「章・節の問い」に対して「地理的な見方・考え方」を働かせて考えるステップなど、課題解決的な学習ができる工夫がなされている。(p.13、25、42、62-63、78-79、88-89、104-105、116-117、126-127、165、180-181、196-197、212-213、230-231、246-247、262-263、278-279) ●「アクティブ地理」では、地域に見られる課題を考察し、解決への取り組みを考えるパフォーマンス課題が設定されている。(p.90-91、150-151、214-215、281-282) 	おもに 特色3 p.29-40 および p.49-52

帝国書院『社会科 中学生の地理』 特色一覽

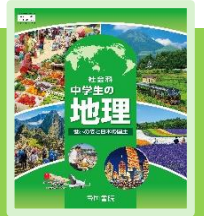
② 検討の観点から見た内容の特色



観点	観点の内容	『社会科 中学生の地理』の特色 ※(青字)は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
内容の扱い／学習活動	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための構成・工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●単元を貫く「章・節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、単元の最後の「学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成になっている。 ●第2部第2章「世界の諸地域」および第3部第3章「日本の諸地域」の単元冒頭に、学習の進め方や各地域で注目するテーマ・視点が「序節」としてわかりやすく示されており、学習の見通しが立てやすいように工夫されている。(p.45、166) ●本文ページ左上の導入資料では、写真や資料に対して中学生に親しみやすいキャラクターが吹き出しで疑問を投げかけており、導入資料を用いて対話的な学習ができるように工夫されている。 ●本文ページは左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真、コラムを配置し、下部に本文を配置する学習しやすいレイアウトで統一されている。また、相互にリンクが張られ、資料が活用しやすいように工夫されている。 ●「学習を振り返ろう」では、学習した知識をもとに、「地理的な見方・考え方」を働かせながら主体的・対話的に「章・節の問い」を振り返ることで、「深い学び」につなげられるように配慮されている。(p.13、25、42、62-63、78-79、88-89、104-105、116-117、126-127、165、180-181、196-197、212-213、230-231、246-247、262-263、278-279) ●「アクティブ地理」では、正解が1つでない課題解決型学習を通して、意見交換や発表をする対話的な学習を多く設定している。対話を通して課題に粘り強く向き合い、さまざまな立場を踏まえて合意形成を目指す態度を身に付けられるように工夫されている。(p.90-91、150-151、214-215、281-282) ●第3部第1章「地域調査のしかた」では、調査テーマの決め方、視点の例、調査手順などが具体的に示されており、生徒が主体的に学習を進められるように配慮されている。(p.128-139) ●周囲との対話を促す「対話」アイコンを設けている。対話を通して、自身の考えをより深めるとともに、他者の意見を尊重する態度を身に付けられるように工夫されている。(p.70、75、209など全51か所) 	おもに 特色2 p.13-28 特色3 p.29-40 および p.49-52
	基礎的・基本的な「知識および技能」を確実に習得するための工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●見開き1時間の紙面が、興味・関心を引く「導入」→学習を見通せる「学習課題」→丁寧でわかりやすい「本文」→学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識および技能が確実に理解できるように工夫されている。 ●第2部第2章「世界の諸地域」および第3部第3章「日本の諸地域」では、各地の地域的特色を確実に理解できるように、各節の構成が「写真で眺める」→「自然環境」→「歴史・文化」「産業など」→「学習を振り返ろう」という展開に構造化されている。(p.64-79「ヨーロッパ州」、p.199-213「近畿地方」など) ●本文は、全編にわたり地理的事象のしくみや概念がわかるように因果関係を踏まえた上で、具体例を挙げながらわかりやすく記述されている。また、文章で書かれた内容を補足し理解を促進する、わかりやすい図解が多数掲載されている。 ●第3部第1章「地域調査のしかた」では、調査テーマの決め方、視点の例、調査手順、必要な技能が系統だて具体的に示されており、技能を習得しやすいように配慮されている。(p.128-139) ●「技能をみがく」コーナーが設けられ、「地理的な見方・考え方」を働かせる上で必要な基礎的な技能が習得できるように配慮されている。(p.17、44、133など全21か所) ●本文側注およびQRコンテンツの中に用語解説が用意されている。 	おもに 特色2 p.13-28 特色3 p.29-40 および p.49-52
	深い学びを実現させるための「思考力・判断力・表現力等」を育成するための配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●本文ページの見開きの右下には、「確認しよう」および「説明しよう」が設置されている。「確認しよう」には本時の学習での習得事項を確認する作業課題が、「説明しよう」には本時の学習内容を活用して思考を促し、自分なりに判断・表現する問いが設けられている。これにより言語活動を毎時間くり返し行い、思考力・判断力・表現力を育成できるように配慮されている。 ●各章・節末の「学習を振り返ろう」では、章・節の学習で得た知識を生かして、「地理的な見方・考え方」を働かせつつ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題が設けられている。また、思考ツールを用いて自分の考えを整理・構造化できるように配慮されている。 	おもに 特色3 p.29-40
	「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる社会的な見方や考え方を働かせるための配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●写真や図版、本文が密接に関連しているため、地理的事象の背景や因果関係を読み取ることができ、「地理的な見方・考え方」を自然と働かせられるように配慮されている。 ●「学習を振り返ろう」では、地図や写真、思考ツールなどのさまざまなツールを用いて、「地理的な見方・考え方」を働かせられるように工夫されている。(p.13、25、42、62-63、78-79、88-89、104-105、116-117、126-127、165、180-181、196-197、212-213、230-231、246-247、262-263、278-279) ●「見方・考え方」アイコンを設け、「社会的な見方・考え方」を働かせて考察するための視点が示されている。(p.78、90、212など全21か所) 	おもに 特色2 p.13-28 特色3 p.29-40 および p.49-52

帝国書院『社会科 中学生の地理』 特色一覽

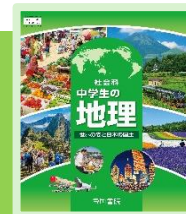
② 検討の観点から見た内容の特色



観点	観点の内容	『社会科 中学生の地理』の特色 ※(青字)は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
内容の扱い／学習活動	生徒の興味・関心を喚起させ、「主体的に学習に取り組む態度」を育成できるような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●幅広の判型(AB判)で、写真や地図、グラフなどが大きく見やすく提示され、地理への興味・関心が喚起されるように工夫されている。 ●第2部第2章「世界の諸地域」では、各節の冒頭に「写真で眺める」が設けられ、地域への興味・関心を高めてから学習に入れるようになっている。(p.46-47、64-65、80-81、92-93、106-107、118-119) ●第3部第3章「日本の諸地域」では、各節の冒頭にイラスト地図および「写真で眺める」が設けられ、地域への興味・関心を高めてから学習に入れるようになっている。(p.167-169、183-185、199-201、217-219、233-235、249-251、265-267) ●生徒にとって親しみやすい中学生のキャラクターが各ページに配置され、発問や気づき、学習の手がかりや示唆などを提示することで、主体的に学習へ取り組めるように配慮されている。 ●各見開きの左上に、1時間ごとの導入となる資料が設けられている。ワイドな写真からイメージを喚起したり、驚きや疑問をもったりして学習への意欲を引き出せるようになっている。 ●第3部第1章「地域調査のしかた」では、調査テーマの決め方、視点の例、調査手順などが具体的に示されており、生徒が主体的に学習を進められるように配慮されている。(p.128-139) 	おもに 特色1 p.5-12 特色2 p.13-28 特色3 p.29-40
	小学校・高等学校との接続や関連に配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●本文ページ脚注欄には「小学校・歴史・公民・他教科との関連」コーナーが設けられ、小学校で学習した内容を確認できるよう、関連用語が提示されている。(p.30、102、208など) また、資料には「小・歴・公アイコン」が付され、小学校の学習との関連を確認できる。(p.21、142など) ●第2部第2章「世界の諸地域」および第3部第3章「日本の諸地域」では、自然環境、歴史・文化、産業などの地域的特色をきちんとおさえられるように配慮されている。 ●第1部第1章「世界の姿」や第1部第2章「日本の姿」、および「技能をみがく」に設けられた作業「やってみよう」では、小学校で学習する都道府県や地図帳の活用に関する内容を、より深化させる学習ができるように工夫されている。(p.12、22、133など全18か所) 	おもに 特色2 p.13-28 および p.53-54
	他分野との接続や関連への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●本文ページ脚注欄には「小学校・歴史・公民・他教科との関連」コーナーが設けられ、歴史的分野・公民的分野との接続ができるよう、関連用語が提示されている(p.30、102、208など) また、資料には「小・歴・公アイコン」が付され、小学校の学習との関連を確認できる。(p.97、123など) ●地図帳の活用が効果的な場面には「地図帳活用」アイコンを付し、地図帳の活用を促している。(p.26、72、210など全56か所) ●第2部第2章「世界の諸地域」および第3部第3章「日本の諸地域」では、各地域の文化や産業についての歴史的経緯が積極的に記載され、歴史的分野との接続が考慮されている。 ●「環境・エネルギー」「人権・多文化」「情報・技術」「防災」「平和・安全」「伝統・文化」といった、未来の社会をつくる取り組みを紹介する特設ページおよびコラムの「未来に向けて」が設けられ、歴史的分野および公民的分野への接続が考慮されている。(p.75、156、171など全40か所) ●「アクティブ地理」では、歴史的分野や公民的分野とも関連するテーマを設定し、他分野の学習と関連する視点が提示されている。(p.90-91、150-151、214-215、281-282) 	おもに 特色2 p.13-28 特色4 p.41-44 および p.53-56
	我が国の伝統・文化、宗教に対する理解を深められる配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●第3部第3章第6節「東北地方」では、地域を見る視点を「生活・文化」とし、伝統文化を生かした産業や伝統文化の継承について考察できるように配慮されている。(p.249-263) ●第3部第3章第1節「九州地方」では、琉球王国の歴史や伝統文化、第7節「北海道地方」では、節末の「未来に向けて」においてアイヌ民族の生活や文化について触れ、多文化が尊重される社会を意識させるように配慮されている。(p.178-179、280) 	おもに 特色2 p.13-28
	我が国の領域を正しく理解できる配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●第1部第2章「3日本の領域とその特色」では、日本の領域について図や写真を用いて丁寧に説明し、正しい理解を深められるように配慮されている。また、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが明記され、領土に関する現状と課題を示しつつ、平和的な解決に向けてどのような方法があるのか考えられるように配慮されている。(p.18-21) 	おもに p.53-56
	補充的な学習や発展的な学習に対しての工夫・配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●第3部第1章「地域調査のしかた」および第4部第1章「地域のあり方」では、協働学習形態の提示が行われている。(「地域調査のしかた」：p.128-139/「地域のあり方」：p.283-293) ●「未来に向けて」が設けられ、持続可能な社会をつくるための人々の取り組みを示すことで、社会に対し生徒自身がどのように参画していくかを発展的に考えることができるように工夫されている。(p.75、156、171など全40か所) ●「アクティブ地理」では、習得した「知識・技能」を活用してパフォーマンス課題に取り組むことができる。(p.90-91、150-151、214-215、281-282) 	おもに 特色3 p.37-40 特色4 p.41-44
	生徒が家庭でも主体的に自学自習できる配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の冒頭には「教科書を活用した学び方」を設け、自学自習がしやすいように配慮されている。(巻頭5-6) ●緯度・経度や時差など、図版だけでは理解しづらい概念を説明する際は、QRコンテンツにアニメーションを収録して、理解を促すように配慮されている。 ●QRコンテンツでは、学習内容に関連する動画や「学習を振り返ろう」の解答などが閲覧でき、生徒が自学自習しやすいように工夫されている。(巻頭6など全85か所) 	おもに 特色5 p.45-48

帝国書院『社会科 中学生の地理』 特色一覧

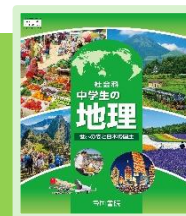
② 検討の観点から見た内容の特色



観点	観点の内容	『社会科 中学生の地理』の特色 ※(青字)は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
今日的な課題への対応	環境教育に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●第2部第2章「世界の諸地域」および第3部第3章「日本の諸地域」では、学習が「自然環境」から始まっており、各地域の自然環境に対する理解が深められるように配慮されている。(「ヨーロッパ州」 p.66-67、「近畿地方」 p.202-203など) ●「未来に向けて 環境・エネルギー」が12か所設置され、環境保全に取り組んでいる人々の姿が紹介されている。(p.73、75、121、125、156-157、173、177、182、209、223、275、277) 	おもに 特色2 p.13-28 特色4 p.41-44
	防災に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●第3部第2章「日本の地域的特色」の中で日本の自然災害について扱っている。日本で起こりうる自然災害と各地で行われている防災への取り組みについて学び、同時に自分自身が災害にどのように備えるか、災害発生時にどのように行動すべきか、主体的に考えられるように配慮されている。(p.146-151) ●「アクティブ地理 自然災害から命を守ろう」では、ハザードマップの使い方や災害時の避難方法などを実践的に学習でき、防災への意識を高められるように配慮されている。(p.150-151) ●第3部第3章「日本の諸地域」の自然環境を扱う見開きでは、各地方の自然環境に関連した災害とそれに対する対策の実例を示したコラム「未来に向けて」が設置されており、地方における自然環境の特色と防災の関連がつかめるように配慮されている。(p.171、187、203、221、237、253、269) ●第3部第3章第6節「東北地方」の節末「未来に向けて」では、東日本大震災の復興に向けた取り組みを事例として扱っている。防災の重要性を強調するとともに、地域ぐるみで取り組むことの大切さを知ることができるように配慮されている。(p.264) 	おもに 特色4 p.41-44
	人権・平和教育の推進のために、どのような配慮がなされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ●第2部第2章「世界の諸地域」および第3部第3章「日本の諸地域」では、各地にはさまざまな立場や考え方があることを認識し、多様な価値観や文化に対する理解と寛容な態度を育めるように配慮されている。 ●「未来に向けて 人権・多文化」が7か所 (p.61、85、97、111、205、243、280)、「未来に向けて 平和・安全」が2か所 (p.55、189) 設置され、多様な価値観や文化の共生を図る人々の姿が紹介されている。 	おもに 特色2 p.13-28 特色4 p.41-44
	グローバル化に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●第2部第1章「人々の生活と環境」の中で、世界とのつながりの中で変化していく衣食住などの事例を写真や本文で提示し、グローバル化が地域に及ぼす影響について記述されている。(p.31、33、35、37、39、40-41) ●第3部第3章「日本の諸地域」では、グローバル化の影響が地方産業に及ぼす影響が記述されている。(p.175-177、192-193、206-207、222、224-225、229、239、242-243、259、270、274-276) 	おもに 特色2 p.13-28 および p.49-52
	少子高齢化に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●第3部第2章「6日本の人口」では、日本における少子高齢化の現状について記述されている。(p.152-153) ●第3部第3章「日本の諸地域」では、少子高齢化が地域に及ぼす影響について記述されている。(p.195、210、241、245、260) 	おもに 特色2 p.13-28
	情報化に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●第3部第2章「8日本の産業」では、情報化が商業に与える影響が記述され (p.158-161)、第3部第3章第5節「4工業地域の変化と第3次産業の発達」では、情報が集まる地域の産業について記述されている。(p.242-243) ●「未来に向けて 情報・技術」が5か所設置され、情報化や技術革新によって人々の暮らしがどのように変容したか記述されている。(p.161、198、232、248、290) 	おもに 特色4 p.41-44
	「持続可能な開発目標」(SDGs)に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の冒頭で世界と日本における「持続可能な開発目標」(SDGs)の事例が写真で紹介され、SDGsと地理的事象の関連について意識できるように工夫されている。(巻頭1-2) ●第3部第3章「日本の諸地域」の各節末「未来に向けて」にはSDGsマークが付され、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいる実社会の事例を掲載し、SDGsへの関心が高まるように配慮されている。(p.182、198、216、232、248、264、280) ●「アクティブ地理 課題解決に向けた取り組みを考えよう」では、アフリカ州で見られる課題を考察し、解決への取り組みをSDGsと関連させて考えられるように配慮されている。(p.90-91) 	おもに 特色3 p.29-40 特色4 p.41-44 および p.55-56
表記・表現	統計、挿絵、写真、図表などは鮮明、正確かつ適切であり、相互の関連がはかれるなど学習効果を高めるための工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●本文の記述を補足する写真や図版などが大判で豊富に掲載され、学習を深められるように工夫されている。 ●学習内容に関連する事項の参照ページや、参照資料の図番号などのリンクが設けられ、資料の活用を促している。 ●資料の読み取りのポイントを示した「資料活用」が設けられ、資料の活用が促されている。(p.31、49、206など全53か所) ●地理的分野の学習に必要な用語を解説した「解説」が側注欄に設けられている。文章だけでは理解しづらい用語には、図解や写真が添えられて視覚的に理解が深まるように工夫されている。(p.207側注「中小企業と大企業」など全53か所) 	おもに 特色1 p.5-12 特色2 p.13-28 特色3 p.29-40 および p.57-58

帝国書院『社会科 中学生の地理』 特色一覧

② 検討の観点から見た内容の特色



観点	観点の内容	『社会科 中学生の地理』の特色 ※(青字)は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
表記・表現	特別支援教育やインクルーシブ教育に対して適切な配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●本文や図版などでは、文字をはっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォント(UDフォント)が使用され、誤読を防ぐように配慮されている。 ●見開きのデザインや、グラフ・地図などの資料には、色覚特性をもつ生徒も識別しやすい色や模様が使用され、カラーユニバーサルデザインの配慮がなされている。 ●色数の多いグラフや地図には、模様や線種、記号などが使用され、色以外での区別ができるように配慮されている。 ●図版が色で囲まれ、どこまでが同一の図版か読み取りやすいように配慮されている。 ●各見開きのデザインは、生徒が学習しやすいように本文、資料、側注などが統一されたレイアウトで整理されている。 ●紙面右端のインデックスには、章・節の学習内容が記載されていることで、一目で学習している単元がわかるように配慮されている。 ●反射を抑えた紙が用いられ、読み取りやすいように配慮されている。 	おもに 特色3 p.29-40 および p.57-58
印刷・装丁等	紙質や印刷の鮮明さなど、生徒の利便性に配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●写真の印刷は鮮明で見やすくなっている。 ●地図などの図版は、記号や注記文字が明瞭で読み取りやすいように配慮されている。 ●紙は、反射を抑えつつ、鮮明に発色して裏写りせず、かつ文字も書き込める軽量なものが使用されている。 ●生徒が家に持ち帰ることを想定し、軽い紙が用いられている。 	おもに p.57-58
	造本は3年間の使用に耐えられる配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●表紙の材料は引っ張り、折りなどに強い用紙が使用され、さらに、表面の摩耗・汚れを防ぐためにポリプロピレンシートが貼られており、長期間の使用に耐えられるように工夫されている。 ●製本は、針金綴じよりも強度があり、かつ重量の軽いPUR製本が用いられている。これにより本が大きく開くため、机の上に開いたまま置くことができるように工夫されている。 	
	用紙・インキ等は、環境への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●古紙および環境に優しいフレッシュパルプが用いられている。インキには国産米の米ぬかから作られるライスインキが使用され、環境保全への配慮がなされている。 ●針金を使わないPUR製本により、資源を節約すると同時に、リサイクルしやすいように工夫されている。 	
サポート体制	デジタル教科書・教材や教師用指導書などのサポート体制はどのようになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●学習者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書+教材、指導者用デジタル教科書(教材)、教師用指導書、拡大教科書が令和7年4月までに発刊される予定である。 	おもに p.59-62